

事 務 連 絡

平成 13年 6月 11日

各 位

平成 13年度病虫害発生予察技術情報第 3号の送付について

高知県病虫害防除所長

カンキツの黒点病の発生状況について別添のとおり資料を送付しますので、防除指導の参考にしてください。

春葉での発生が多いからといって、果実での発生が多くなるとは限りませんが、今後雨量・気温とも平年より多く(高く)なるとの予想が発表されていますので、防除指導の徹底をお願い申し上げます。

なお、今回の調査データは春葉での黒点病発生状況で、果実での発生は未調査です。果実における調査は今月(6月)以降です。

1. 気象予報 (高松地方気象台 6月 1日発表)

向こう1ヶ月の予報 6月2日から7月1日

向こう1ヶ月の気温、降水量及び日照時間の階級の予想される確率は次のとおりです。

確率

(単位 :%)

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	四国全域	20	30	50
降水量	四国全域	20	40	40
日照時間	四国全域	30	50	20

概要

向こう1か月の気温は高い可能性が大きく、その確率は50%です。降水量は平年並もしくは多い可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。日照時間は平年並の可能性が大きく、その確率は50%です。

2. カンキツ類における県下地域別の黒点病発生面積 (春葉)

単位 ha

樹種	年 別	地域	発生程度				
			甚	多	中	少	計
温州ミカン	本 年	中央部	0	0	0	36	36
		中西部	0	0	0	0	0
		西部	0	0	0	0	0
		県下合計	0	0	0	36	36
	平 年	中央部	0	0	0	4	4
		中西部	0	0	0	0	0
		西部	0	0	0	1	1
		県下合計	0	0	0	5	5
中晩柑	本 年	東部	0	0	0	0	0
		中央部	0	0	101	235	336
		中西部	0	0	87	0	87
		西部	0	0	0	0	0
		県下合計	0	0	188	235	423
	平 年	東部	0	0	1	6	7
		中央部	0	0	0	27	27
		中西部	0	0	0	0	0
		西部	0	0	0	43	43
		県下合計	0	0	1	76	77

以上、平成13年度病害虫発生予察5月月報より抜粋

要点: 1) 春葉での発生が極端に多くなっている地域(県中央部・中西部)、樹種(文旦)がある。

2) 6月の気温は高く、雨量も多い見込みである。

(<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/byoki/geppo/geppo.html>参照)

3. 防除対策

1) 枯枝の除去を行う

2) 薬剤散布は梅雨時に1~3回、薬剤が果実に十分付着するように丁寧に行う。なお、前回の防除から累積雨量が250mmを越せば、次回の薬剤防除を行う

3) 薬剤の使用にあたっては、県の農薬使用基準を参照のこと。